



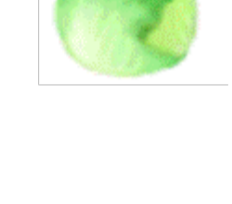
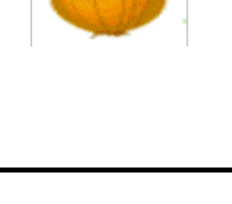



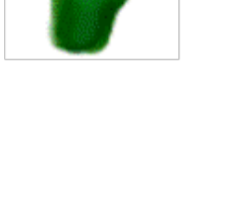
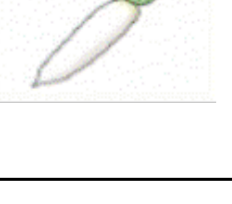


野菜の需給・価格動向レポート(平成27年3月23日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	2月の価格情報			3月の価格情報		生育及び価格の3月までの見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の關 東・近畿ブ ロック旬別平 均販売価額				
		中旬	下旬				上旬		
葉 茎 菜	キャベツ 	88.05	87	84	88.05	62	・入荷見込量: 16,840 (100) ・主産地: 愛知 (68)、千葉 (15)、神奈川 (12)	・愛知産は、生育は順調で最近の降雨により大玉傾向となっており、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、最近の降雨と低温などによる傷みからは品質的には回復傾向にあり、台風の影響で植え直したほ場からの出荷も加わることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。神奈川産は、現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は次期作の生育が順調でやや前進出荷の傾向にあるため、平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。	
		83.73	85	84	83.73	59	・入荷見込量: 4,900t (131) ・主産地: 愛知 (63)、大阪 (23)、和歌山 (6)	・愛知産、千葉産及び神奈川産の出荷が、平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	229.99	216	243	229.99	234	・入荷見込数量: 4,320 (101) ・主産地: 千葉 (47)、埼玉 (25)、茨城 (10)、輸入 (4)	・千葉産は、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、病害虫の発生が見られることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、2月の適温適雨により生育は順調で引き続き平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷の見込み。	
		450.51	438	442	450.51	382	・入荷見込数量: 230t (95) ・主産地: 徳島 (35)、奈良 (16)、香川 (12)、三重 (11)、高知 (10)	・埼玉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、千葉産及び茨城産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
	はくさい 	61.12	42	46	61.12	52	・入荷見込量: 8,960t (100) ・主産地: 茨城 (41)、兵庫 (33)、群馬 (14)	・茨城産は、秋冬物の出荷の終盤期で、次期作は2月の低温と最近の多雨により定植及び生育が遅れが出ており、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。兵庫産は、即売物の出荷はほぼ終了し、今後は冷蔵物の計画的な出荷であり、平年並みの出荷の見込み。	
		68.70	57	59	68.70	70	・入荷見込量: 3,100t (95) ・主産地: 長崎 (50)、愛知 (16)、兵庫 (12)、熊本 (11)	・兵庫産の出荷が平年並みと見込まれるものの、茨城産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	ほうれんそう 	307.66	480	453	307.66	370	・入荷見込量: 1,640t (102) ・主産地: 茨城 (33)、群馬 (23)、千葉 (18)、埼玉 (15)	・茨城産は、生育は順調で作付面積の増加もあり、引き続き平年より多めの出荷の見込み。群馬産は、気温が高めに推移し、適度な降雨もあり生育は順調で、前倒し出荷の傾向に伴い、出荷が谷間となることから、引き続き平年並み若しくは平年よりやや少なめの出荷の見込み。千葉産は、最近の降雨と曇天の影響で現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、気温の上昇と日照時間の増加に伴い今後は平年並みの出荷の見込み。	
		341.25	530	498	341.25	416	・入荷見込量: 650t (103) ・主産地: 徳島 (70)、福岡 (13)、大阪 (7)	・群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、茨城産及び千葉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
	レタス (結球) 	233.85	251	233	199.64	202	・入荷見込量: 8,410t (100) ・主産地: 茨城 (37)、静岡 (21)、香川 (9)、兵庫 (7)、栃木 (4)	・茨城産は、生育は順調で特段の病害もなく、引き続き平年並み出荷の見込み。静岡産は、病害の影響から引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。香川産は、最近の降雨と日照不足により根の張りが悪く小玉傾向で、現在は平年よりやや少なめの出荷であるが、今後は気温の上昇に伴い平年並みの出荷の見込み。	
		226.75	253	246	203.61	208	・入荷見込量: 1,300t (105) ・主産地: 兵庫 (41)、徳島 (22)、香川 (11)、長崎 (9)	・静岡産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、茨城産及び香川産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は引き続き平年並みに推移する見込み。	
たまねぎ 	76.15	97	103	76.15	108	・入荷見込量: 11,180t (104) ・主産地: 北海道 (68)、静岡 (9)、輸入 (5)	・北海道産は、倉庫に保管されて、計画的な出荷が行われており、今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。静岡産は、生育は若干遅れ気味であるが、概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。		
	76.15	97	97	76.15	101	・入荷見込量: 3,700t (91) ・主産地: 北海道 (50)、長崎 (20)、兵庫 (14)	・出荷の大宗を占める北海道産の出荷は、計画的な出荷が見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
果 菜	きゅうり 	370.98	361	334	253.93	442	・入荷見込量: 5,880t (101) ・主産地: 宮崎 (20)、群馬 (20)、千葉 (18)、埼玉 (15)、茨城 (11)	・宮崎産は、最近の曇天と低温の影響で現在は平年よりやや少なめの出荷であるが、生育は順調で特段の病害もないため、気温の上昇と日照量の増加に伴い、今後は平年並みの出荷の見込み。群馬産は、定植直後の天候不順により生育に若干の遅れが見られ平年よりやや少なめの出荷であるが、今後は日照量の増加に伴い平年並みの出荷の見込み。千葉産は、2月下旬以降の日照不足などによる天候不順で、平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は日照量の増加に伴い、平年並みの出荷の見込み。	
		350.33	339	314	242.77	432	・入荷見込量: 1,250t (96) ・主産地: 宮崎 (40)、高知 (24)、徳島 (17)、愛媛 (7)	・宮崎産、群馬産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
	トマト (大玉) 	332.60	421	441	339.78	466	・入荷見込量: 6,610t (100) ・主産地: 熊本 (32)、栃木 (20)、愛知 (11)、茨城 (6)、千葉 (5)、埼玉 (5)、福岡 (4)、群馬 (3)	・熊本産は、最近の降雨と気温の上昇により一部で病気が散見されるものの、現在は平年並みの出荷であり、今後は気温の上昇で着色が進むことから、平年よりやや多めの出荷の見込み。栃木産は、最近の低温と曇天の影響で小玉傾向で、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。	
		311.06	392	418	321.78	428	・入荷見込量: 1,350t (114) ・主産地: 熊本 (62)、福岡 (13)、愛知 (7)	・栃木産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、熊本産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
	なす 	389.03	452	421	347.77	410	・入荷見込量: 2,930t (100) ・主産地: 高知 (59)、福岡 (21)、佐賀 (5)	・高知産は、最近曇天が続いているため、現在は平年よりやや少なめの出荷であるが、今後は気温の上昇と日照時間の増加に伴い、生育の回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。福岡産は、着果にはややばらつきが見られるが、花数も増えていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		397.74	445	409	330.95	400	・入荷見込量: 580t (98) ・主産地: 高知 (33)、熊本 (25)、福岡 (21)、岡山 (10)	・高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は平年並みに近づき見込み。	
	ピーマン 	551.24	707	685	551.24	659	・入荷見込量: 1,800 (98) ・主産地: 茨城 (33)、宮崎 (33)、高知 (20)、鹿児島 (12)	・茨城産は、最近の天候不順により、現在は平年よりやや少なめの出荷であるが、生育は概ね順調で肥大も良好であるため、今後は平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、日照不足の影響で現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、病害もなく生育は順調であるため、平年並みの出荷の見込み。高知産は、現在出荷の谷間で平年より少なめの出荷となっているが、特段の病害もなく生育は順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。	
		513.91	659	640	513.91	609	・入荷見込量: 530t (104) ・主産地: 宮崎 (47)、高知 (24)、鹿児島 (9)	・茨城産、宮崎産及び高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
	根 菜	だいこん 	79.03	78	85	79.03	82	・入荷見込量: 13,870t (100) ・主産地: 神奈川 (60)、千葉 (33)	・神奈川産は、出荷の終盤を迎え数量は減少するが、病害もなく生育は順調であり、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育は順調であるが、次期作の播種作業と重なり現在は平年よりやや少なめの出荷となっているが、今後は増量して平年並みの出荷の見込み。
			80.47	62	70	80.47	78	・入荷見込量: 3,000t (104) ・主産地: 鹿児島 (36)、長崎 (31)、徳島 (19)	・神奈川産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
にんじん 		101.05	79	80	101.05	87	・入荷見込量: 7,470t (102) ・主産地: 千葉 (50)、徳島 (26)、埼玉 (6)、輸入 (3)	・千葉産は、出荷の終盤を迎え、徐々に数量は減少傾向となるものの、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。徳島産は、降雨などの影響から出荷が遅れが出ているが、生育は順調であるため平年並みの出荷の見込み。	
	104.73	72	79	104.73	84	・入荷見込量: 2,500t (116) ・主産地: 鹿児島 (77)、徳島 (12)、長崎 (6)	・千葉産及び徳島産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めの出荷と見込まれることから、価格は平年並み若しくは平年よりやや下回って推移する見込み。		

種類	2月の価格情報			3月の価格情報		生育及び価格の3月までの見通し	
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		
いも	さといも	217.95	238	225	217.95	227	・入荷見込量：510t (100) ・主産地：埼玉 (38)、千葉 (37)、輸入 (5) ・埼玉産は、現在は貯蔵品の計画的な出荷が行われており、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、これまで前進出荷の傾向であったことや出荷の終盤を迎えて減少することが見込まれることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・埼玉産及び千葉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、価格は平年並み若しくは平年を上回って推移する見込み。
		219.65	265	261	219.65	247	
	ばれいしょ	88.17	97	104	88.17	103	・入荷見込量：85t (-) ・主産地：愛媛 (59)、輸入 (16)、宮崎 (10)、熊本 (8)、鹿児島 (4) ・北海道産は、現在は貯蔵品出荷の終盤を迎えているが、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。鹿児島産は、これまでの干ばつの影響による小玉傾向に加え、最近の降雨による収穫の遅れもあることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・北海道産及び鹿児島産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		88.17	92	94	88.17	88	

注：1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。) 保証基準額の算定の基となる価格。  
 2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)  
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
 4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。さといもの大阪は前年実績。  
 5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。  
 7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、1月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4.374gで前年比100%、購入金額は、1,755円で同99%となった。  
 また、小売物価統計によると、2月のキャベツの小売価格は、202円で過去5か年平均比91%、レタスは、588円で同93%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額 (1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成26年		平成27年	
	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	購入金額 (円)
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	1,755
2月	4,485	1,666	4,646	1,742		
3月	4,868	1,811	4,958	1,878		
4月	4,765	1,855	4,871	1,887		
5月	5,089	1,917	5,146	1,993		
6月	5,056	1,902	4,998	1,976		
7月	4,402	1,737	4,542	1,770		
8月	4,315	1,731	4,275	1,846		
9月	4,688	1,844	4,745	2,035		
10月	5,191	1,902	5,455	1,973		
11月	4,990	1,700	5,291	1,704		
12月	5,146	1,927	5,233	1,977		

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁業世帯を除く))」  
 注：過去5か年平均は、平成22～26年の平均。

## 主要野菜の小売価格(東京都都部)

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成27年	5か年比 (%)	過去5か年平均	平成27年	5か年比 (%)
1月	212	229	108	684	827	121
2月	222	202	91	631	588	93
3月	205			500		
4月	243			453		
5月	163			365		
6月	137			317		
7月	160			332		
8月	138			400		
9月	158			591		
10月	174			469		
11月	164			429		
12月	172			546		

資料：総務省「小売物価統計調査報告」  
 注：1 過去5か年平均は、平成22～26年の平均。  
 2 平成27年2月の値は、2月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

2月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比83%(中国は同89%)の2万4千トン、にんじんは、同62%(中国は同67%)の3千6百トン、ねぎは、同80%(中国は同81%)の3千9百トンとなった。たまねぎ、にんじん、ねぎはそれぞれ前年を大幅に下回った。

野菜の輸入数量 (単位：トン、%)

区分	平成25年		平成26年		平成27年1月	
	前年比		前年比		前年同期比	
生鮮野菜	854,042	90	884,752	104	62,812	67
加工野菜	1,854,162	97	1,784,905	96	142,197	83
野菜合計	2,708,205	95	2,669,658	99	205,009	77
うち中国産野菜合計	1,415,762	97	1,409,102	100	115,308	80
中国産シェア	52		53		56	

資料：ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

## 主な野菜の輸入数量 (単位：トン、%)

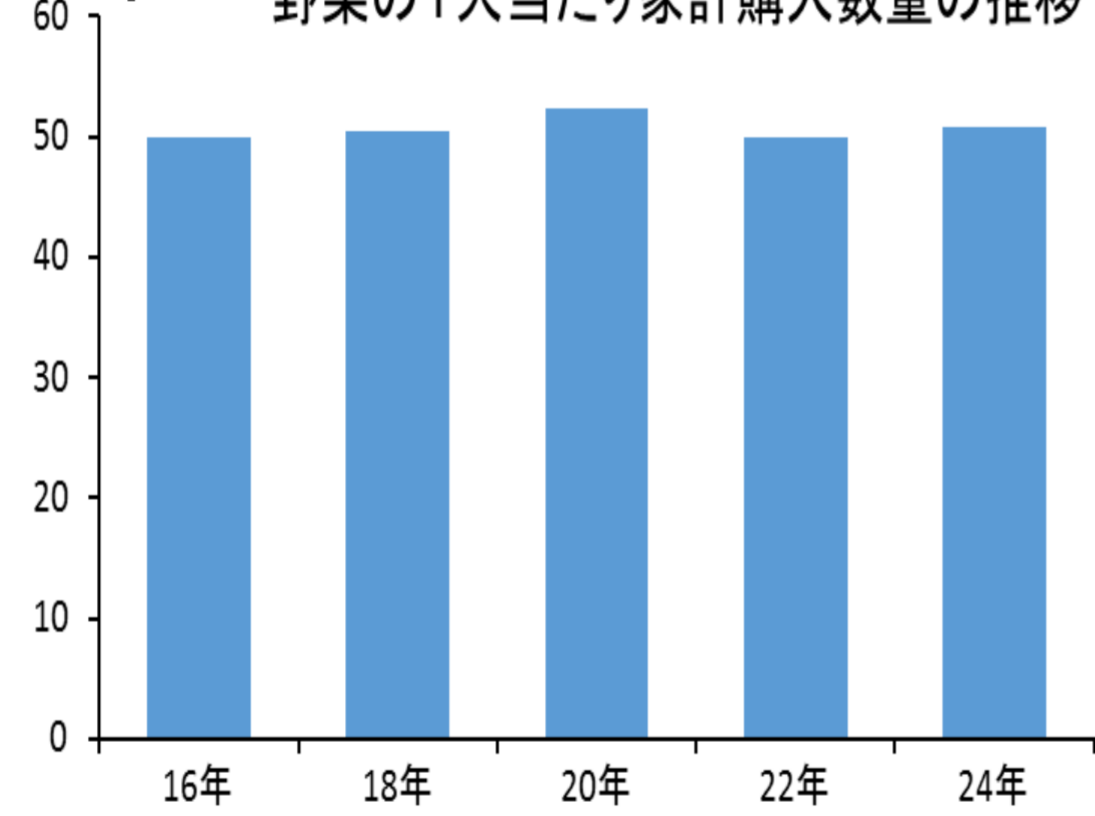
品目	輸入先	平成26年2月(A)	平成27年2月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	28,976	24,136	83
	中国	21,478	19,123	89
	米国	3,975	3,441	87
にんじん	合計	5,737	3,579	62
	中国	3,825	2,561	67
	ベトナム	609	795	131
ねぎ	合計	4,805	3,866	80
	中国	4,744	3,847	81

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成27年2月は速報値。

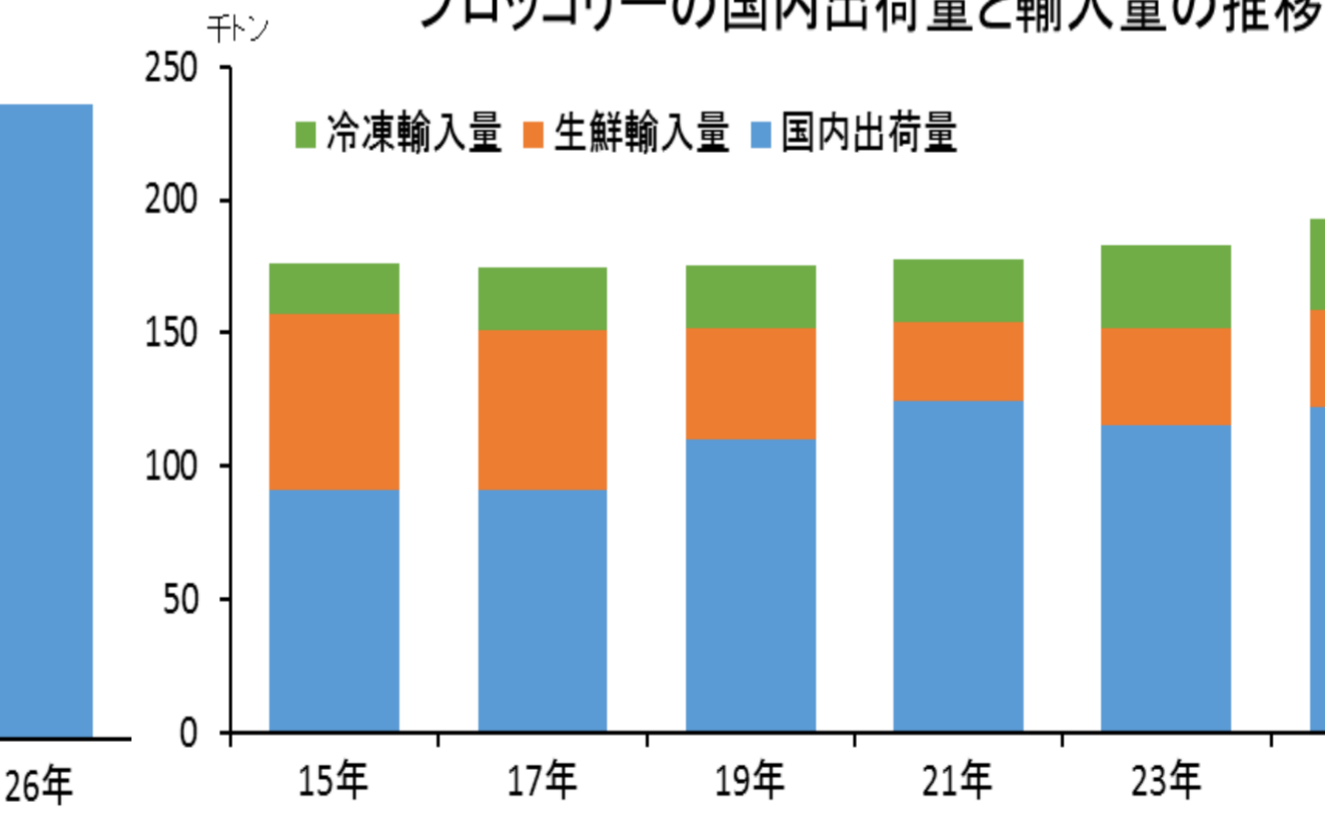
## 4 トピック — 家計調査報告にみる最近の野菜消費の動向 —

先月公表の家計調査報告(年計値、総務省)をもとに、野菜の1人当たり家計購入数量の動向を見ると、平成22年以降は微増傾向であり、平成26年は前年比1%増の5.3kgとなっている。  
 調査対象の品目別(20種類)の家計購入数量を平成16年と26年で比較すると、キャベツ、はくさい、レタス、ブロッコリー及びびんごんの5品目が2割以上増加する一方、さといもが3割以上減少している。  
 増加率が最も高かったブロッコリー(35%増)の国内全体の仕向量(国内出荷量+生鮮輸入量+冷凍輸入量)をみると、平成25年は193千トンとなり15年対比で9.7%の増加であるが、輸入量の割合は48%から37%へと低下している。さらに輸入量は17%減少している。  
 ブロッコリーは、かつては夏場を中心に米国等から多く輸入されていたが、最近では、夏場にも国内産地の形成が進んでおり、特に主力産地の北海道、長野県の出荷量(平成25年)は対15年比でそれぞれ155%、73%と大幅に増加している。  
 また、増加率が2割以上であったキャベツ(22%増)、レタス(24%増)の国内作付面積を見ると、平成20年までは農家の高齢化や後継者不足等もあって減少傾向であったが、21年以降は微増傾向となり、キャベツは15年とほぼ同程度の水準までに回復している。キャベツやレタスは、サラダにもよく使用されるが、平成26年の家計のサラダの間際購入金額は、二人以上世帯、単身世帯ともに前年比でそれぞれ6%増(1,270円/人)、9%増(2,038円/人)と引き続き需要が堅調である。  
 ブロッコリーの国産シェアの回復やキャベツ作付面積の回復の動きに加えて、最近では、外食・中食等事業者が、品質差別化等の観点から輸入野菜を国産野菜に切り替える動きもみられており、需要が堅調な野菜の国内の産地形成の取組強化が改めて求められている。

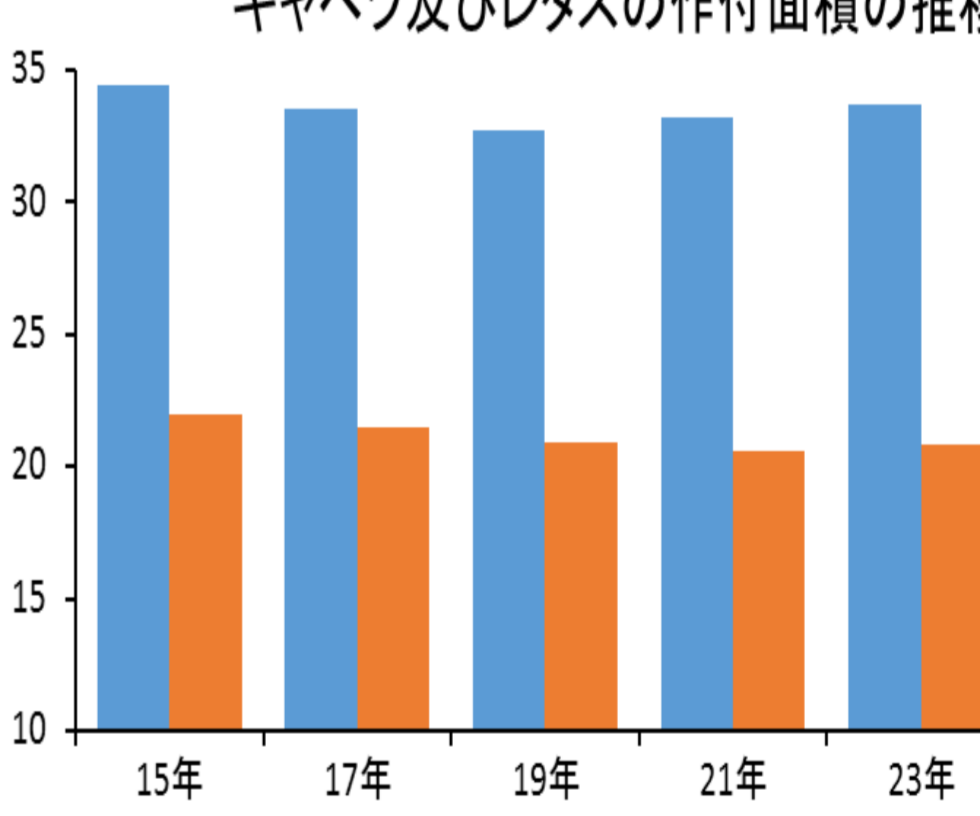
野菜の1人当たり家計購入数量の推移



ブロッコリーの国内出荷量と輸入量の推移



キャベツ及びレタスの作付面積の推移

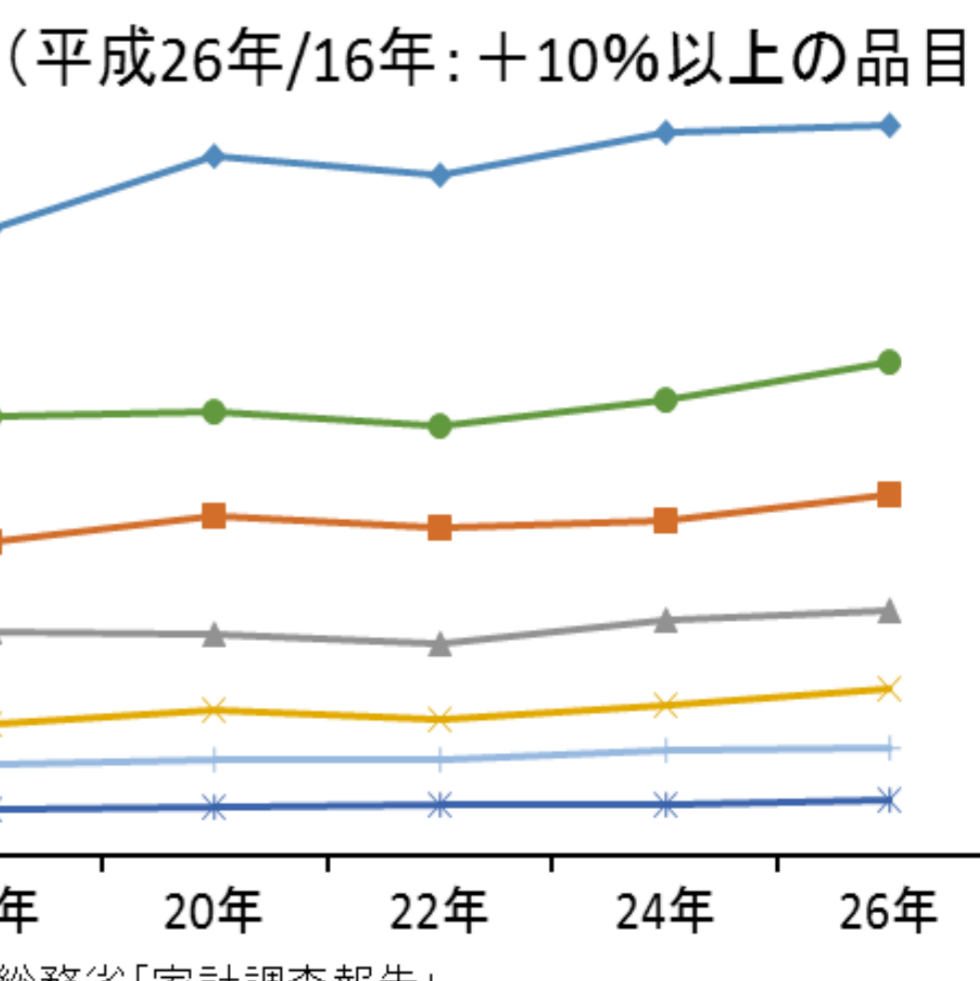


1人当たり家計購入数量の品目別増減率等(平成26年/16年)

増減率	ブロッコリー	れんこん	レタス	はくさい	キャベツ
+20%以上	34.8 (1,364g)	33.3 (460g)	24.6 (2,001g)	23.2 (2,944g)	22.4 (5,951g)
+10~20%未満	12.3 (4,022g)	11.9 (885g)			
0~+10%未満	8.9 (5,033g)	8.8 (2,930g)	0.3 (4,644g)		
△10~0%未満	△0.1 (1,423g)	△0.5 (3,548g)	△0.6 (1,616g)	△2.8 (1,129g)	△8.0 (960g)
△20~△10%未満	△10.7 (2,532g)	△12.3 (1,423g)	△14.9 (607g)	△17.7 (750g)	
△20%以上		△32.2 (623g)			

資料：ベジ探(原資料)総務省「家計調査報告」  
 注：上段：増減率、下段：26年購入数量

家計購入数量の増加品目の年次推移(平成26年/16年：+10%以上の品目)



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜供給部 供給業務課 前川、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
 ◆「野菜の供給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。  
 ★この「野菜の供給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\_report.htmlに掲載しています。